

奈良女子大学

古代学学術研究センター

平成 26 年度

第 1 回 月例研究会

日時：2014 年 6 月 4 日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環 A 棟 1 階）

内容：威信財からみた古墳成立期

大賀克彦（古代学学術研究センター）

古墳時代は、前方後円墳を代表とする巨大な規模を持つ墳墓、すなわち「古墳」の築造によって特徴付けられる。古墳は、様々な器物が豊富に副葬されるなど、厚葬化が著しい点でも知られている。その画期を象徴する存在が、全長 280m に達する巨大な前方後円墳である奈良県箸墓古墳である。しかし、現在の古墳時代研究においては、古墳の諸要素は、当時の有力者が生前に形成していた政治組織上の位置を表示しているにすぎないように取り扱われている。今回の発表では、時期区分と時期比定の再編の結果が持つ歴史学的な含意を念頭に置きつつ、副葬品の中心を構成する威信財から、弥生墳丘墓と古墳の本質的な相違、古墳時代における畿内地域の中心性の成立、古墳時代における中央と周縁の関係性、などといった問題を追究したい。

ご自由にご参加下さい

問合せ先：奈良女子大学古代学学術研究センター
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
奈良女子大学コラボレーションセンター205 号室
Phone & FAX. 0742-20-3779